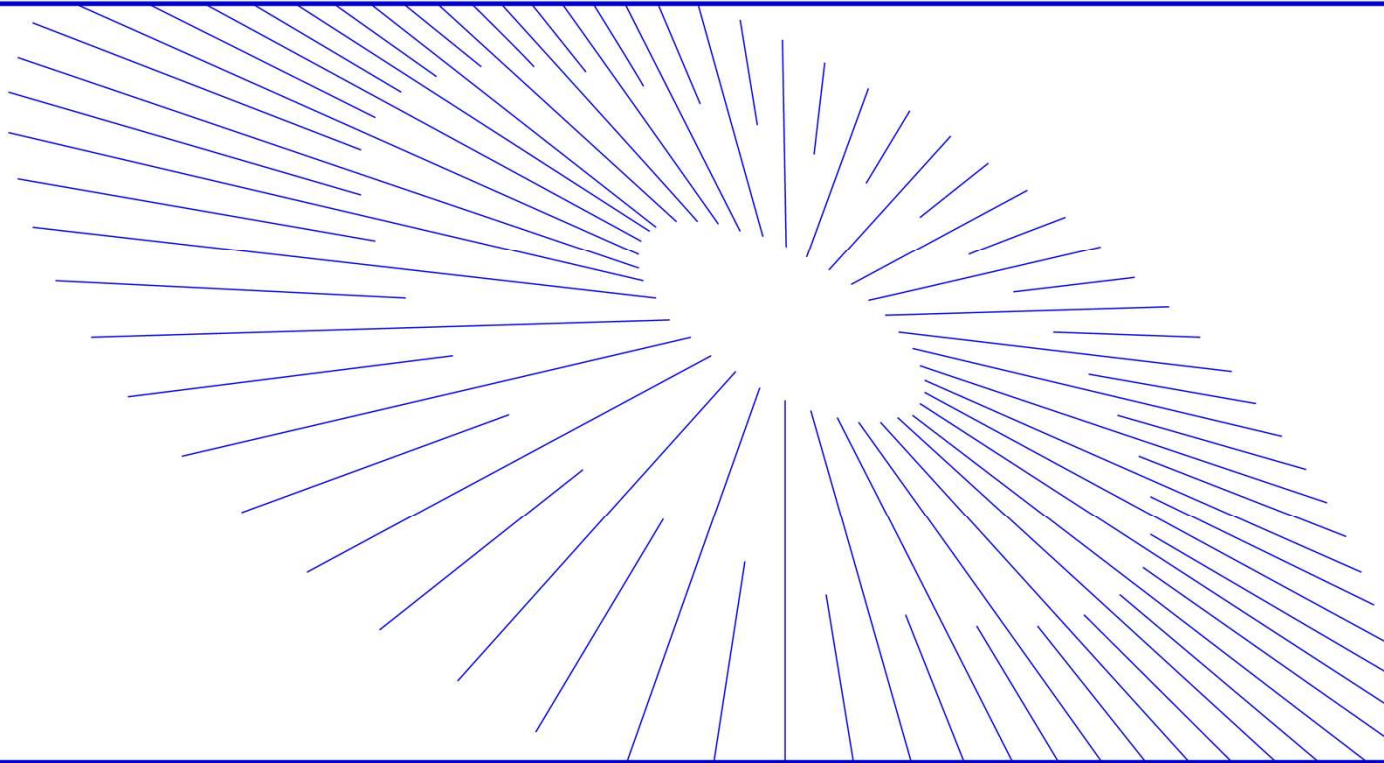


Smart Construction Quick3D

2026.9.29 AR機能 リリース版について





ステータス
すべて

撮影者
[選択]

現場名
すべて

プロジェクト名
検索

GPS
RTK

点群
除去

?

[ユーザーアイコン]

検索結果：
309 / 2700 件

並び順
撮影日

From

~ 20

名前

現場名

撮影者

種類

2026/09

各プロジェクトの三点リーダーからの選択画面に【ARで表示[試用版]】を追加しました。
従来のAR表示を行う場合は【ARで表示】を選択下さい。

プロジェクト名変更

削除

アップロード

ARで表示

ARで表示[試用版]

AR

RTK

2026/09/21
18:29

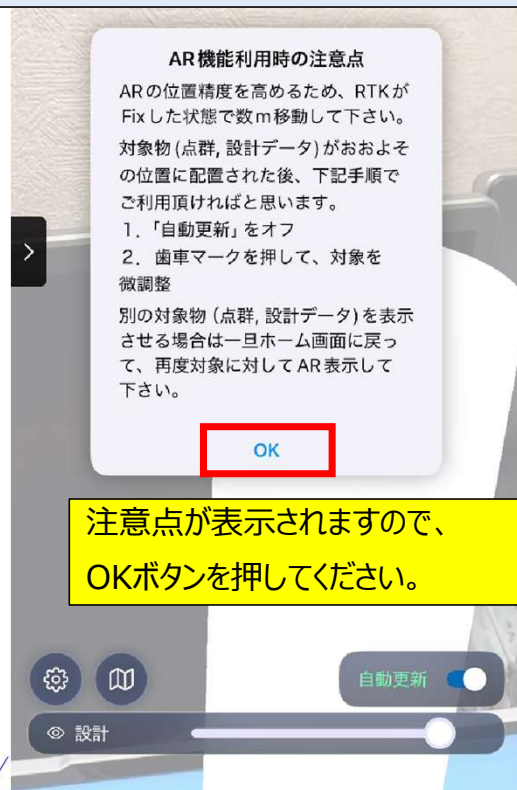
AR専用データ

⋮

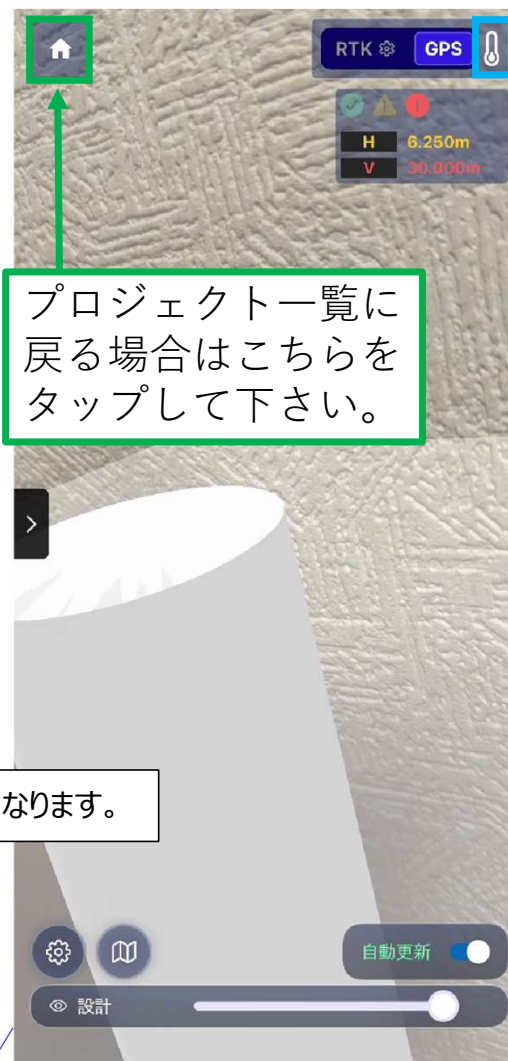


大まかな流れは下記となります。（従来と同じです。）

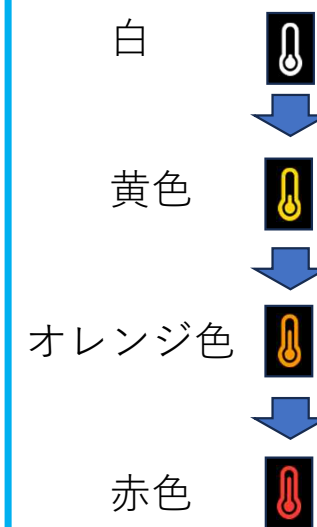
1. RTKデバイスに接続
2. RTKデバイスの精度が良くなるまで待つ
3. RTKデバイスの精度がよくなったら、数m移動する。
4. 対象物が正しい位置に表示される。
- （5. 必要に応じて微調整等を行う）



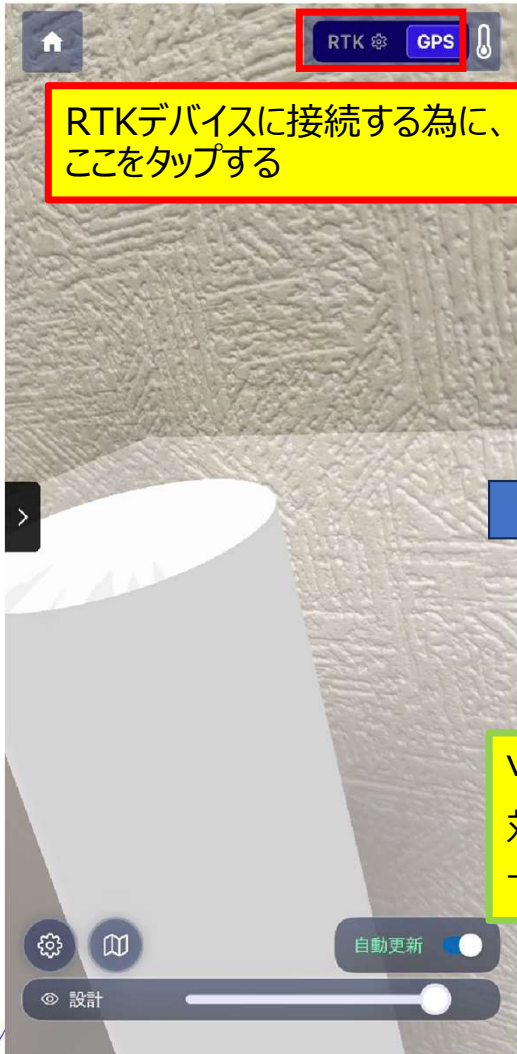
OKを押すとこの画面になります。



端末の温度を示します。
発熱するとアプリ上の表示が
かくつく等が起こり得ます。
赤色にならない様に
ご注意ください。



「×ボタン」を押すと、AR画面に戻ります。



RTKデバイスに接続する為に、ここをタップする

RTKデバイス接続

RTKデバイスが検出されました

デバイスが見つかりませんか？
デバイスが見つからない場合は、
デバイスの電源がONであることとBluetoothがONになっていることを確認してください。

viDocの電源が入っていると、対象機種が表示されます。
下側にある「接続」ボタンをタップしてください。

に接続

カメラオフ

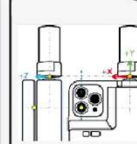
端末: iPhone

RTKデバイス

接続方法:



SPC+



手動入力

アンテナ下端ーカメラレンズ間オフセット値
X[m] 0.057 | Y[m] -0.020 | Z[m] 0.018

NTRIP

VRS 提供会社

docomo

ホスト名/IP

ポート番号

ユーザー名

パスワード

接続方法を確認して選択して下さい。
(iPhone14以下はSPCとSPC+が選択できる為、間違えない様にお願いします。)

- docomo ✓
- softbank
- jenoba
- テラサット
- SmartConstruction Edge
- SmartConstruction Rover / CSmatePro
- その他

「VRS提供会社」を選択すると、ホスト名/IP, ポート番号が自動で入力されますので、ご活用下さい。
手入力が必要な場合は、「その他」を選択後、手入力してください。

ユーザー名とパスワード入力後
「NTRIPを認証する」をタップする

ホスト名/IP	ポート番号
ユーザー名	パスワード
NTRIPを認証する	
Mountpoint	Coordinate system
 RRS2024 >	 EPSG:6667 >

Mountpointは
各VRS提供会社毎の
最適なものを選択して
下さい。

Coordinate system
は各VRS提供会社毎の最
適なものを選択して下さい。
(例えばdocomoであれば、
EPSG 6667)

仰角マスク

15° ▼

仰角（RTK デバイスのアンテナを基準として垂直な平面からの角度）が一定値以下
の衛星や信号を利用しないように制限する設定です。
仰角の低い衛星は、建物・樹木・地形などの影響を受けやすく、反射（マルチパス）
や遮蔽により測位精度が低下する場合があります。
仰角マスク 15°が推奨値となります。

GNSS コンステレーション

- GPS ☒
- Galileo ☒
- QZSS ☒
- GLONASS ☒
- BeiDou ☒

GNSS コンステレーションとは、測位に使用する衛星測位システムと、その衛星
配置全体を指します。
複数のコンステレーションを同時に使用することで、使用可能な衛星数が増え、
測位の精度や安定性が向上します

接続

仰角マスクは設定変更可能ですが、
15°のままご利用頂く事をお薦め致します。

「GNSSコンステレーション」も変更可能ですが、
そのままの設定でご利用いただく事をお薦め致します。

全て入力が終わったら「接続」をタップして
ください。

デバイス接続画面へ戻る。
「接続を解除」ボタンをタップする事で、
RTKデバイス接続を解除可能

RTKデバイス接続

← デバイス選択に戻る

60%

接続済み

カメラオフセット

端末: iPhone 16 Pro Max

RTKデバイス: viDoc

接続方法:

SPC+

手動入力

アンテナ下端ーカメラレンズ間オフセット値

X[m] 0.044

Y[m] -0.027

Z[m] 0.015

NTRIP

VRS 提供会社

docomo

ホスト名/IP

ポート番号

d-gnss.jp

2101

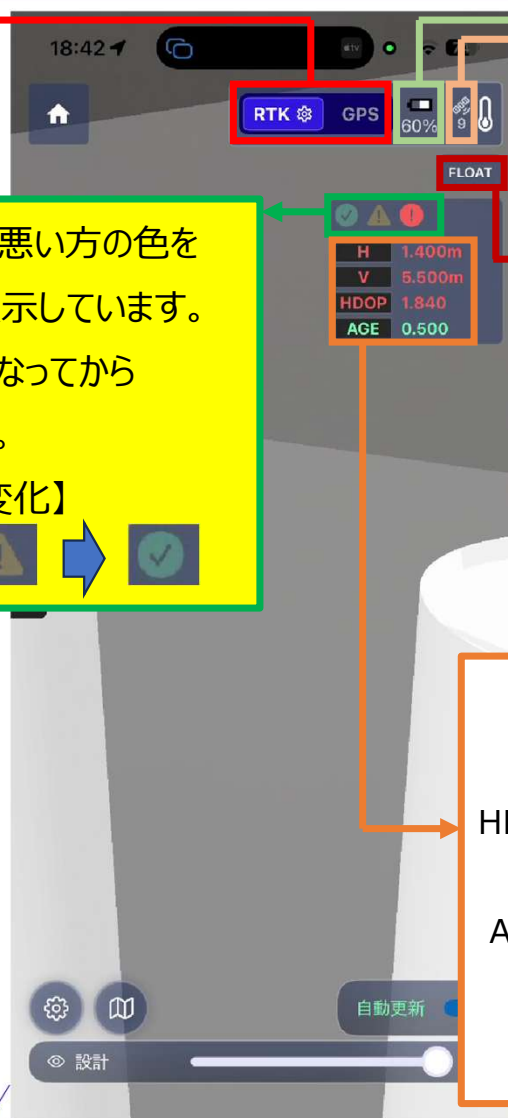
ユーザー名

パスワード

接続を解除

HとVの精度が悪い方の色を
信号形式で表示しています。
「緑の状態」になってから
ご利用ください。

【ステータスの変化】



計算に使用されている
衛星数の数を示してい
ます。

RTKデバイスの
電池残量が
表示されます。

FIX
FLOAT
DGNSSのみ
単独測位
無効
のステータスがあります。
FIX状態をご利用下さい。

H : 水平方向の精度

V : 垂直方向の精度

HDOP : GNSSで測位するときの衛星の配置の良し悪しを表す指標です。

値が小さい方が望ましく、水平方向（緯度・経度）の精度に効きます。

AGE : RTKやDGPSで、基地局やネットワーク型RTK（VRSなど）
から最後に補正情報を受け取ってから何秒たったかを表します。

AGEが小さいほど精度が安定しやすいので、目安としてください。

3. RTKデバイスの精度がよくなったら、数m移動する。
4. 対象物が指定した座標系の位置に表示される。
- (5. 必要に応じて微調整等を行う)

【微調整の方法】

座標系が表示されます。

この座標系の色を見ながら、各「+」ボタンを押すと、矢印がある側に対象物が移動します。
各「-」ボタンを押すと、矢印と反対側に対象物が移動します。

モデルの中心の位置に緑色の線が配置されています。

Yawとスケールはこの緑色の線に対して下記動作を行います。

【Yaw】

Yawを変更時、緑の線に対してモデル全体を回転させられます。
(右図でオレンジ色の四角を表示時、Yawを変更する事で緑や、赤色の位置に変更可能です。)

【スケール】

スケールを変更時、緑の線に対して全体モデルの大きさを変更する事が可能です。

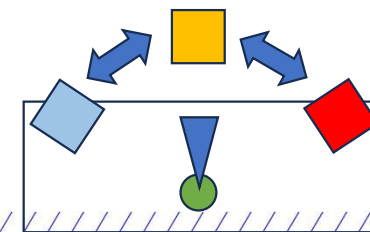
1. 自動更新をoffにする

(これをoffにしないと、手動でオフセットを変更しても、自動的に修正されてしまいます)

2. 歯車アイコンをタップする

「+」「-」を押した際の変化量は
こちらから変更できます。

Yaw 変更イメージ



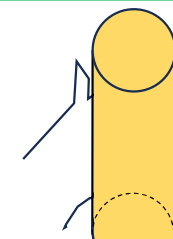


1. 歯車アイコンをタップする

2. 表示設定をタップする

スライダーを動かすことで、
対象を透過表示させることができます。

オクルージョン off



映している対象が常に
前に表示される

オクルージョン on(発熱量増える)



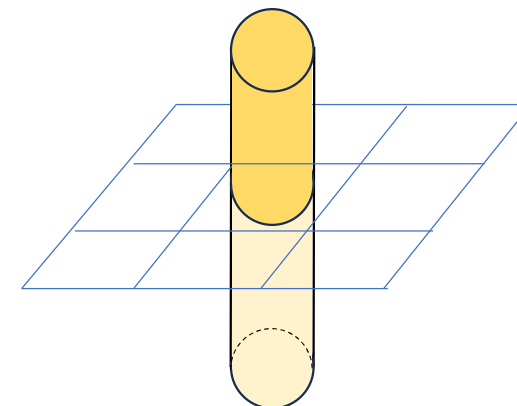
映している対象より前に
物体があると、そちらが
前に表示される

地面グリッド off



全て均一な色で表示
される。

地面グリッド on(発熱量増える)



地面グリッドが表示される。
地面グリッドより下の部分は
表示が薄くなる。

AR対象を上面から表示する事ができます。

下記アイコンをタップする

レイヤー表示をし、対象ごとにon/offが可能です。

ここをタップすると
レイヤーが表示されます



